

兵庫県高砂市へのツマグロキチョウの飛来記録と吸蜜植物

島崎正美¹⁾・島崎能子¹⁾

兵庫県におけるツマグロキチョウ (*Eurema laeta bethesba*, 絶滅危惧 I B 類 (環境省, 2020), 以下, 本種) については「兵庫県の蝶」(2007) に 2004 年までの 32 市の記録が集約されており, その後, 本種が大発生をした年のマーキング調査や新たに本種が確認された 7 市町の追加等の報告がある (近藤, 2015)。さらに, 本種の阪神間での確認記録 (神吉, 2022; 神吉, 2023) と追加記録 (広畑, 2023) もみられる。

本種の第二化 (秋型) には生息地から遠く離れた場所へと分散移動する強い習性があることはよく知られていて, 上記報告中にも食草: カワラケツメイ類が自生していない地域での観察例が多くみられる。マーキング手法による行動範囲の調査 (近藤, 2015) では越冬後の初夏までの生存が認められているが, 行動範囲の調査結果をまとめるまでには至っていない。

高砂市における本種については, 立岩幸雄氏による越冬個体の観察例 (荒井町, 2014 年 1 月 3 日) と, 東輝弥氏による阿弥陀町での 2008-9 年, 2015 年の記録および筆者らによる高砂公園での 2015 年の記録があるが (近藤, 2015), 高砂市内には食草の自生が確認できておらず, いずれの観察個体も他の生息地から高砂市に飛来したものと考えられる。

今回, 2024 年 10 月に久しぶりに高砂市で本種の飛来を確認できたことを機会に, 筆者らによる未発表の観察記録と, 高砂市在住で「NPO 法人こどもとむしの会」に所属しておられる東輝弥氏から提供いただいた観察記録を合わせて, 高砂市への飛来記録として報告する。公表済み (近藤, 2015) の 2015 年 9 月の記録も吸蜜植物を示す目的で再掲した。

兵庫県内で観察できた吸蜜植物に関しては, アメリカセンダングサ, カワラケツメイ, コバノランタナ, シロツメクサ, ヤマハギの 5 種 (近藤, 2000) に「兵庫県の蝶」でヒメジョオンが追加され, その後, 新たにカタバミ, キツネノマゴ, コウヤボウキ, コセンダングサ, シソ, スミレ, セイタカアワダチソウ, センブリ, ヒメクズ, ミゾソバ, ミヤコグサ, ヤクシソウ, ヤマハッカの 13 種が追加記載された (近藤, 2015)。以上 19 種との重複も含め,

高砂市で観察できた吸蜜植物名 (新規植物に下線) を本種の飛来記録に付記 (画像は鮮明な記録のみ表示) し, 参考記録として加古川市での新知見吸蜜植物も示す。

【高砂市での本種および吸蜜植物の観察記録】

筆者ら以外の例にだけ観察者を付記。

- 1) 観察日 2008 年 10 月 29 日
観察地 高砂市西畑 4 丁目 1ex
大木曽水路沿いの草地路面に静止
- 2) 観察日 2015 年 9 月 20 日, 21 日, 22 日
観察地 高砂市西畑高砂公園 1ex
ナデシコ (図 1), ポーチュラカ (図 2) で吸蜜
三日間おそらく同一個体
- 3) 観察日 2015 年 10 月 6 日
観察地 高砂市米田町古新 1ex
キツネノマゴで数秒吸蜜
- 4) 観察日 2016 年 11 月 22 日
観察地 高砂市荒井町小松原 1ex
ノブドウの葉上に静止
- 5) 観察日 2019 年 10 月 4 日
観察地 高砂市曾根町日笠山 1ex
ヌスビトハギで数秒吸蜜
- 6) 観察日 2020 年 10 月 25 日
観察地 高砂市荒井町浜風公園 1ex
アベリア (図 3) 垣根を移動しながら吸蜜
- 7) 観察日 2021 年 10 月 18 日
観察地 高砂市荒井町千鳥 1ex
観察者 東輝弥
- 8) 観察日 2021 年 11 月 3 日
観察地 高砂市荒井町千鳥 1ex
観察者 東輝弥
- 9) 観察日 2021 年 11 月 21 日
観察地 高砂市高砂町木曾町 1ex
観察者 東輝弥
- 10) 観察日 2022 年 10 月 13 日
観察地 高砂市荒井町千鳥 1ex
観察者 東輝弥

¹⁾ Masami SHIMAZAKI・Yoshiko SHIMAZAKI 兵庫県高砂市



図 1. ナデシコで吸蜜.
(2015/9/21 高砂市西畑高砂公園)



図 2. ポーチュラカで吸蜜.
(2015/9/21 高砂市西畑高砂公園)



図 3. アベリアで吸蜜.
(2020/10/25 高砂市荒井町浜風公園)



図 4. ヒナギキョウで吸蜜.
(2024/10/6 高砂市高砂町松波町)



図 5. カンサイタンポポで吸蜜.
(2015/10/6 加古川市西神吉町)

11) 観察日 2022 年 10 月 14 日

観察地 高砂市荒井町小松原 1ex
セイタカアワダチソウ, カタバミで吸蜜
土手斜面を転飛しながら吸蜜

12) 観察日 2023 年 3 月 16 日

観察地 高砂市曾根町日笠山 1ex
ケネザサの茂み路面に越冬個体が静止

13) 観察日 2023 年 10 月 2 日

観察地 高砂市曾根町日笠山 1ex
キツネノマゴ, ノコンギクで吸蜜
傾斜地に咲く花を転飛しながら吸蜜

14) 観察日 2024 年 9 月 29 日

観察地 高砂市阿弥陀町長尾 1ex
観察者 東輝弥

15) 観察日 2024 年 10 月 6 日

観察地 高砂市高砂町松波町 1ex
ヌスビトハギ, ユリオブスデージー, ヒナギキョウ (図
4) で吸蜜
それぞれの花は約 50m 離れた位置にあり,
本種は吸蜜しては転飛という動きを見せた.

【参考：加古川市での新規吸蜜植物】

観察日 2015 年 10 月 6 日
観察地 加古川市西神吉町中西
カンサイタンポポ (図 5), タデで吸蜜

以上のすべての飛来記録は, 本種が行動範囲を広げるとされる秋型およびその越冬個体であるが, どこの発生地由来なのかは分かっていない. 近藤 (2015) に記載されている加古川市志方町で竹内隆氏が植栽したカワラケツメイで発生した本種はその後に発生が途絶え,

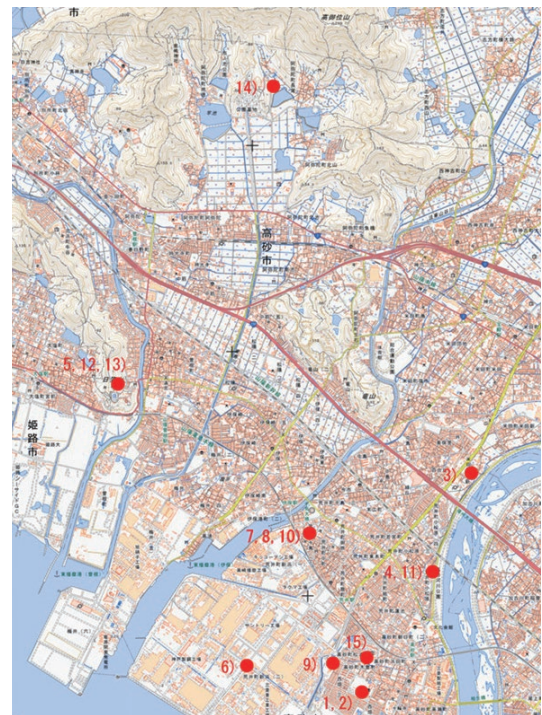


図 6. 高砂市への飛来地点.

再度の発生確認は 2020 年 9 月 20 日となっていて (竹内氏私信), 2015 年と 2020 年の観察記録中に加古川からの飛来個体が含まれる可能性はあるが, 記録のほとんどが他地域からの飛来だと考えられる. 近隣の姫路市, 加西市などの生息地も飛来元としての可能性はあるが確証はない. 高砂公園から約 22km の距離にある三木市の三木山森林公園内にはアレチケツメイの群落があって, 2014 年に初めての発生が確認されている (近藤, 2015). 筆者らはそのアレチケツメイ群落の周辺で 2022-24 年の発生を確認していて本種が継続発生をしていることは疑いないが, 本種の移動行動範囲としてこ

これから高砂市までの飛来の可能性があるのかどうかはわからない。今回の観察地を国土地理院の地図上に示すと図6のようになり、飛来目的としては吸蜜植物を求めてやってきたことがうかがえるが、12)の例もあって越冬場所を探してやってきた可能性も考えられる。

蝶の遠距離移動に関しては、ジャコウアゲハがウマノスズクサの存在を察知して2km以上離れた場所から飛来して産卵した事例（1973年高砂市：筆者らによる未発表知見）や、クロマダラソテツシジミが約40km離れた阪神地区（神戸市中央区相楽園と推定）から加古川市、高砂市のソテツの新芽を察知して飛来し、一時的に世代をつなぐ発生をみた事例（島崎ら, 2021; 島崎ら, 2024）などがあるが、本種の秋型の移動に関しては食草を察知しての行動とは思えない場合が多い。具体的な事例は示されていないが、原色日本蝶類生態図鑑（福田ら, 1982）には本種の秋型が越冬後に再び食草群落のある環境へともどる可能性が示されていて、確認したい興味ある課題である。なお、福田らが本種に関してはキタキチョウのように獣糞などの汚物に集まる習性は知られていないと記述して以降、牛糞での吸汁例が報告され（近藤, 2000）、Web検索でも本種が獣糞で吸汁している例がみられる。

最後に、加古川市志方町における本種の2017年以降の発生状況についての情報を提供して下さった竹内隆氏、および2021年以降の高砂市への飛来記録について情報を提供して下さった東輝弥氏にお礼申し上げる。

参考文献

- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1982. 原色日本蝶類生態図鑑 (I), 277pp. 保育社, 東京
- 神吉正雄, 2022. ツマグロキチョウの阪神間での確認記録. きべりはむし, 45(2): 8-15
- 神吉正雄, 2023. 阪神間におけるツマグロキチョウの記録 (2023年春季までの出現状況). きべりはむし, 46(2): 17-24
- 環境省, 2020. 環境省レッドリストの公表について. <https://www.env.go.jp/press/107905.html>. (最終閲覧: 2025年4月)
- 近藤伸一, 2000. 蝶類の観察記録—訪花・吸蜜植物等—. きべりはむし, 28(2): 22-38
- 近藤伸一, 2015. 兵庫県におけるツマグロキチョウの大発生について (みんなで調べよう 2015). きべりはむし, 38(1): 6-12
- 広畑政巳, 2023. 兵庫県におけるツマグロキチョウの記録 10 数例. きべりはむし, 46(1): 40
- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶, 330pp. 岩峰社,

東京

- 島崎正美・島崎能子, 2021. 兵庫県高砂市におけるクロマダラソテツシジミの発生記録. きべりはむし, 44(1): 53-57
- 島崎正美・島崎能子, 2024. 兵庫県高砂市におけるクロマダラソテツシジミの発生記録-2023. きべりはむし, 47(2): 46-47
- 獣糞での吸汁例. <http://eisenbahn.g2.xrea.com/Beast%20droppings/beast%20droppings.html> (最終閲覧日: 2024年12月)